

登録団体紹介

■ 尊徳そば打ち会

当会は、「手打ちそばの知識、技術向上を目指し、会員相互の親睦・交流を深め、そば打ちを通して地域社会に貢献すること」を目的として、シルバー大学校同窓会真岡支部会員の有志が中心となって、平成25年3月に設立。活動はこの4月で8年目に入りました。

当会の会員は現在17名、毎月2回の定例そば打ち会を開催し、二八そばで行っています。技術指導に当たっては、素人そば打ち段位認定者5名(4段位2名、3段位3名)が行っています。

定例会ではそば打ち後、試食会を行っていますが、現在、コロナ禍での試食会は中止、また、介護老人福祉施設等でのそば打ちボランティア活動も中止していますが、コロナ禍が収束すれば再開する予定です。

なお、当会に興味がある方は見学も可能です。お気軽にお声がけください。

代表：萩原 浩季



■ 書道愛好会

私達は月2回、幅広い年齢層が集まって書道の勉強に励んでいます。

一般に書道というとうまい人が通うと思われがちですが、私達の教室はまったく初めての方、また、もう一度やり直したい方等いつでもその状態から始められます。勿論、高度な技術も習得できます。

誰でも見てわかる書、容易に鑑賞できる書、そして幅広く、皆が永く楽しんでいける会を目指しています。

一人一人がそれぞれの呼吸、息づかいで無理なく一步一步、日々精進しているところです。

まずは一度お気軽に活動を覗いてみませんか。

代表：河村 和子



■ 演劇集団サジカゲン

芳賀郡市内を中心に活動している演劇サークルです。おおよそ年に1回のペースで公演を行っています。

これまでに、芳賀郡市芸術祭演劇部門への参加や芳賀郡内での単独公演をしてきました。

現在は高校生から社会人までの7人で、年齢や職業に囚われずに演劇を楽しんでいます。

残念なことには最近の世の中の情勢もあり、次回公演の目処が中々つきません。緊急事態宣言下では、リモートでの台本読み合わせを行うこともありましたが、今は毎週金曜日の夜7時から次回作の稽古に取り組んでいます。

一日も早く、安全に沢山の方と演劇を楽しめることを祈って、明るく元気に活動を続けていきます!

代表：塩田 優子



真岡市市民活動推進センター コラボレもおか

〒321-4507
栃木県真岡市石島893-15 真岡市二宮コミュニティセンター2F
TEL: 0285-81-5522
FAX: 0285-81-5558
e-mail: info@collabo-moka.net
URL: http://www.collabo-moka.net/

【開館時間】火～金: 9:00～21:00
(土・日は18:00まで)

【休館日】毎週月曜日・祝日
・年末年始(12/29～1/3)

※その他イベント・施設管理の関係で臨時に休館になる場合があります。



コラボレもおか
イメージキャラクター
コラちゃん(左)と
ポレくん(右)



もおかの人と人をつなぐ情報誌

コラボ!

第50号

2021.7

真岡市市民活動推進センター コラボレもおか [運営団体]特定非営利活動法人まわかた

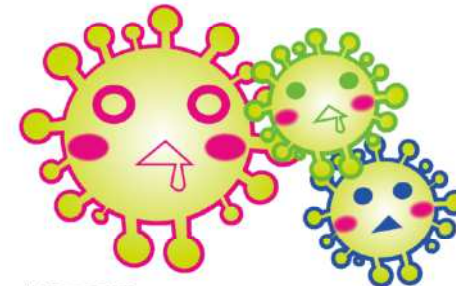
アンケートからみえた

市民活動への コロナの影響

特集

いまだコロナ禍が蔓延する日常。各地で活動の休止を伝えるメッセージが飛び交っています。

当センターでは、真岡市内での活動の現状を知るため、年度末に毎年行っている利用者アンケートに加え、コロナ禍での活動の様子について聞かせていただきました。今回はその中でも団体の皆さんの回答からコロナ禍の影響を見てみたいと思います。



○コロナ禍の影響

本調査でまず分かったのは、51%の団体がコロナ禍の影響で活動を休止していることです(図1)。ただし、40%の団体は活動を継続していることもわかりました。

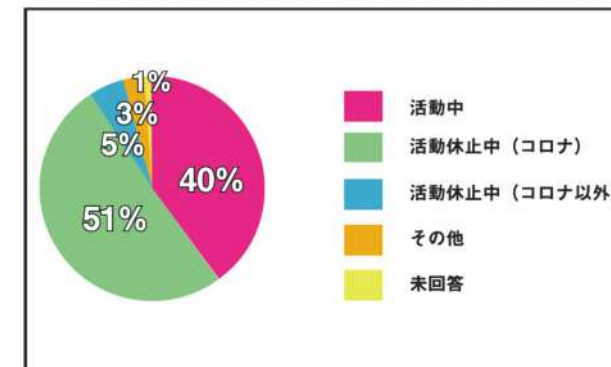


図1. 現在の活動情報について(回答数87)

コロナ禍の影響を大なり小なり受けた団体は、98%に上りました(図2)。活動を継続した団体にも何らかの影響があった場合がほとんどだったようです。具体的な影響(図3)について聞いてみると「イベントや講座を延期、中止(53件)」「イベントが中止となり、参加できない(40件)」「活動に使える場所が確保できない(35件)」と続いています。

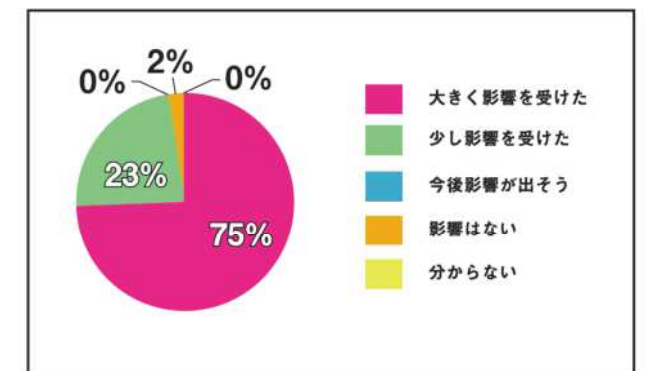


図2. コロナ禍での活動への影響(回答数87)

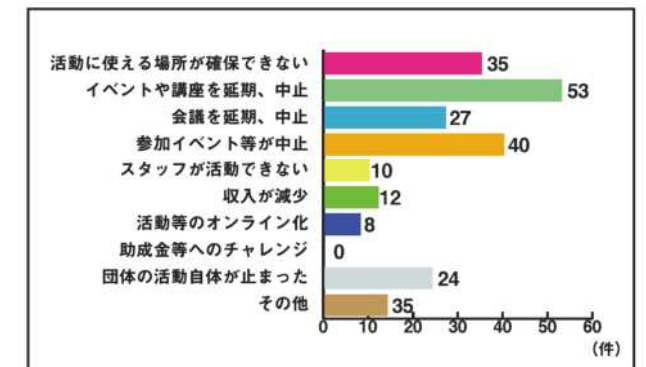


図3. 活動への影響(回答数85)

コロナ禍での対策はどうしているのでしょうか。「マスク、アルコール等の感染予防(71件)」「3密を避ける(67件)」といった対面活動での対策について、「活動の休止(39件)」が3番手に上がっていました(図4)。

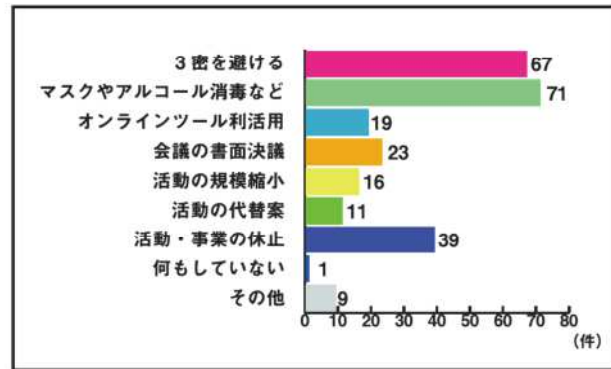


図4. 感染拡大防止のための対策や工夫(回答数87)

今後の不安については、「コロナが収まらない限り何とも言えない(47件)」の回答が最も多く、活動の見通しを立てられない不安がうかがえました(図5)。

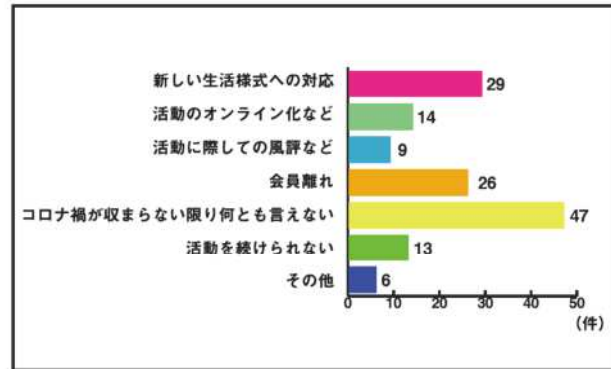


図5. 活動を続けるにあたって不安に思うこと(回答数87)

コロナ禍でオンラインツールが普及することとなりました。回答では「LINE(50件)」「Zoom(30件)」の利用が多いことが分かりました(図6)。一方で、「使ったことはないし、使う予定もない(17件)」といった回答も見られました。オンラインツールを使う上での課題として、「メンバー全員が使えるわけではない(51件)」という回答が群を抜いて選ばれていました。センターに望む取り組みとしては、「活用事例の紹介(33件)」「少人数での使い方講座の開催(32件)」が上位を占めていました。

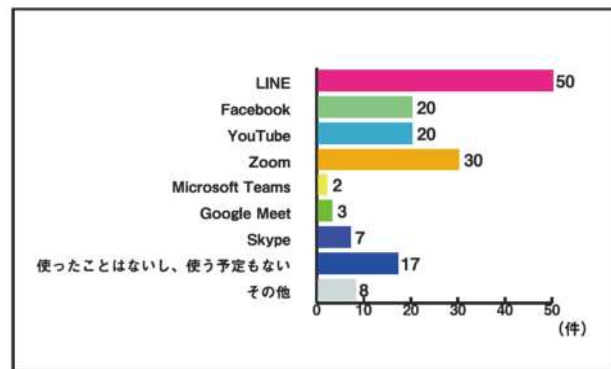


図6. 利用している、あるいはする予定のオンラインツール(回答数87)

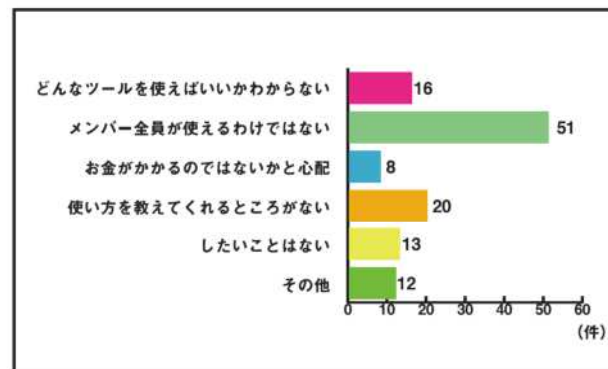


図7. オンラインツール利用への課題(回答数87)

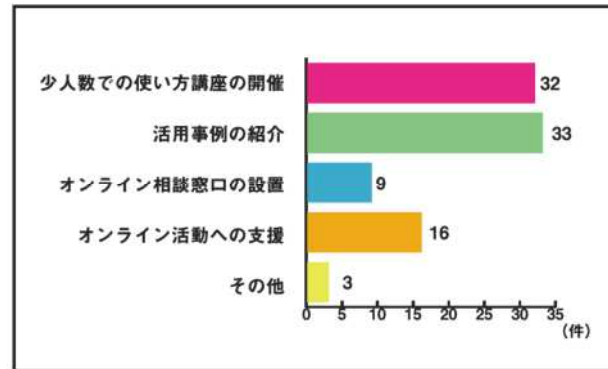


図8. オンラインツールについてセンターに望むこと(回答数87)

○中間支援のできることは

コロナ禍の影響は予想通り大きなものでした。活動時の安全を第一に考えれば、活動の中止はやむを得ず、必要な決断だと思えます。そんななか、必要な対策を取りつつ活動を継続している方々がいることはとても心強く思います。活動ができずに困っている方たちへ提案できることはあるか?活動している人たちのために必要とされることはなにか?私たちにとっても考えることは尽きません。

オンラインツールに関しては、要望の多かった事例紹介や少人数での使い方講座の開催が出来そうです。反面、ツールを使う予定の無い方も少なくなく、オフラインでの繋がり方も模索していかなければと考えています。

ワクチン接種も進むなか、一刻も早くコロナ禍の脅威が取り除かれることを祈ってやみません。

私たちも本アンケートや皆さんの声をたよりに支援の態勢を整えていきたいと思えます。ご意見・ご相談お待ちしております。

(主任コーディネーター 長野 大輔)



活動報告

第76回こらぼ茶話 「プリザーブドフラワーで潤いを」

4/28 水



コロナ感染拡大の影響により、2度中止となった当茶話ですが、感染対策に気をつけながら開催されました。

講師に(一社)フラワーエデュケーションジャパンの檜山きみさんを迎え、プリザーブドフラワーを使って世界に1つしかないお花のドームを作りました。

プリザーブドフラワーとは、生花の水分を保存料と交換させてナチュラルな姿や風合い、鮮やかな花色を長期間にわたって保つ加工花のことです。

参加者の皆さんは、用意された製作セットの元、講師の先生に丁寧にレクチャーされながら黙々とフラワードームを作っていました。

完成されたモノはとても美しく、机に置くだけでとても華やかな存在感を主張していました。

参加者の中には、定期的にプリザーブドフラワーを作りたいという問い合わせなどもあり、寂しくなりがちなコロナ禍の中で、心に華やかさを彩れるとても有意義な茶話でした。(参加者9名)

第77回こらぼ茶話「おうちで動こう ～室内でできる体のメンテナンス～」

6/2 水



コロナ禍において満足に運動が出来ずに心身の健康を損ないがちな昨今。

室内でも椅子に座りながら簡単に出来る運動を教してもらおうと理学療法士の千野泰孝さんを講師に迎え、こらぼ茶話を開催しました。

自宅でも実践できる体のメンテナンスとして、ときにはタオルなどの身の回りにあるものを使いながら、腰やふくらはぎなど普段の生活だけではなかなか使わず衰えやすい箇所をメンテナンスしました。

参加者の皆さんは様々な運動で体を動かし、気持ちよく身体をらくにする運動を学べた様子でした。(参加者10名)

センターより

コラボレもおかでは、「こらぼひろば」と称し、利用者の皆さんの作った作品や団体の活動などを紹介する展示スペースを設けています。

こらぼひろばの見学は自由ですので、ぜひお越しください。また、展示に興味がある方は随時募集していますので、スタッフまでお声がけください。



新規 団体 紹介 (6月現在)

団体名	主な活動内容
ふまねっと真岡	ふまねっと運動をすることで高齢者の認知予防と歩行機能の改善を図る
長田体操クラブ	地域の子供向けに体操の練習・運動機能の向上
もおか弓友会	弓道を通して多くの方に地域での健全なスポーツ活動を行う